

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立浜松特別支援学校 城北分校 P T A
学 校 名	静岡県立浜松特別支援学校 城北分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	53人

1. 使用状況

寄贈物品名	トーンチャイム
使用学年及び人数	高等部全学年(53人)
使用頻度	6月上旬～9月末及び12月上旬～3月中旬(期間中の音楽の授業 毎時間)
使用状況	各学年とも、授業で課題曲を設定し、トーンチャイムを使用した合奏に取り組んだ。単元の最後には音楽の授業内でミニ発表会を行った。12月から再び、トーンチャイムの演奏に取り組み、3月には、全学年そろっての音楽発表会を開き、各学年のトーンチャイム演奏を聴き合う授業を予定している。
物品の使用による変化や効果	昨年度同様トーンチャイムを使用して演奏を行ったことで、2、3年生の生徒は意欲も高く、複数の音の担当を希望する生徒が増えた。また、1年生にとっては、初めての経験である生徒が多い中で、いただいた楽器の豊かな音色が素晴らしく、興味や関心、知的好奇心を揺さぶられるものであったことで、全員が意欲的に取り組むことができた。以前は、トーンチャイムを他校から借用し、限られた期間でしか演奏に取り組むことができなかったが、校内のトーンチャイムが常時使用でき、年間を通じて複数回トーンチャイムの演奏に取り組むことができるようになったことで、生徒たちからも様々な演奏希望が聞かれるようになった。一例としては、トーンチャイムと琴の合奏をしてみたいという希望が生徒から挙がり、実際に、主旋律をトーンチャイムと琴で担当し、音の変化を楽しむことができた。
今後の活用の見通しや課題	今後も、年間を通じて、トーンチャイムの豊かな音色に親しみながら、様々な曲の演奏に取り組んでいく。 また、もう1セット追加されることで、より演奏の場面を広げて取り組んでいく。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



各学年ともに、主旋律パートと伴奏パートに分かれて、トーンチャイムの演奏を行いました。クラシックやポップス、童謡の演奏に取り組みました。

生徒から、トーンチャイムと琴の合奏を行いたいと希望があり、音の変化を楽しむことができました。